

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	安藤 真澄	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
専門演習 I の続きとして、インターネット上のデジタルメディアに記載されるニュースやSNS上の書き込みの信頼性について検証して行きます。フェイクニュースと呼ばれるニュースを事例に、どのような点に注意すれば怪しい情報に引っ掛かりにくくなるかを考察します。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	毎回、読むべき文献やニュースを配布し、それを読解し、そこに書かれている事実と、それに関する自分の意見を明示し、発表することを繰り返します。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	専門演習 I の振り返り	人々の情報行動の変遷	<input type="checkbox"/>
第2回	ネット炎上	ネット炎上の様々な事例をもとに炎上のプロセス	<input type="checkbox"/>
第3回	ネット炎上	ネット炎上の様々な事例をもとに炎上のプロセス	<input type="checkbox"/>
第4回	ネット炎上	ネット炎上の様々な事例をもとに炎上のプロセス	<input type="checkbox"/>
第5回	ネット世論工作	世界各地の選挙に見るデジタルメディアの活用事例と問題点	<input type="checkbox"/>
第6回	ネット世論工作	世界各地の選挙に見るデジタルメディアの活用事例と問題点	<input type="checkbox"/>
第7回	ネット世論工作	マスコミとSNS	<input type="checkbox"/>
第8回	フェイクニュースとは	フェイクニュースの事例や作成されるプロセスを知る。なぜフェイクニュースが作られるのかを考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	フェイクニュースとは	フェイクニュースの事例や作成されるプロセスを知る。なぜフェイクニュースが作られるのかを考える。	<input type="checkbox"/>
第10回	フェイクニュースとは	フェイクニュースの事例や作成されるプロセスを知る。なぜフェイクニュースが作られるのかを考える。	<input type="checkbox"/>
第11回	AIがもたらす未来	デジタルマーケティングとAIの関係について	<input type="checkbox"/>
第12回	AIがもたらす未来	デジタルマーケティングとAIの関係について	<input type="checkbox"/>
第13回	プレゼンテーション	テーマに従って、事実を調べてまとめ、それに関する自分の意見を発表する	<input type="checkbox"/>
第14回	ゼミ交流会への参加	各ゼミのプレゼンテーションを共有する	<input type="checkbox"/>
第15回	プレゼンテーション	テーマに従って、事実を調べてまとめ、それに関する自分の意見を発表する	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)</b>	
日頃からインターネットユーザーの行動に関心を持っておく。単なるユーザーではなく、インターネットビジネスをする側が何を目的としているかを考える。配布される資料を読み込み、わからないところは自分で調べる (4時間)。授業で学んだ内容を確認する (1時間)。	

<b>■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)</b>	
適宜課題を出し、その回答について次の授業でコメントする。	

<b>■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)</b>		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	インターネットの利便性と社会的課題を理解し、インターネット上の情報に振り回されたり、怪しい情報を発信・拡散したりしないようなインターネットのメディアリテラシーを身につけ、インターネットを利活用できる。
-----	-----------------	--

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%
■授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
特定のテーマについてプレゼンテーションを実施して貰います。その内容と授業中に課せられる課題の解答、授業への参加姿勢等で総合的に判断します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要な資料は適宜配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	一田和樹・齊藤孝道・藤村厚夫・藤代裕之・笹原和俊・佐々木孝博・川口貴久・岩井博樹『ネット世論操作とデジタル影響工作 「見えざる手」を可視化する』原書房、2023	9784562072561
2	坂本旬・山脇岳志『吟味思考を育むメディアリテラシー』時事通信社、2022年	9784788717978
3	シナン・アラル、夏目大訳『デマの影響力』ダイヤモンド社、2022年	9784478104873
4	吉野ヒロ子『炎上する社会』弘文堂、2021年	9784335552038
5	山口真一『ソーシャルメディア解体全書』勁草書房、2022年	9784326603503